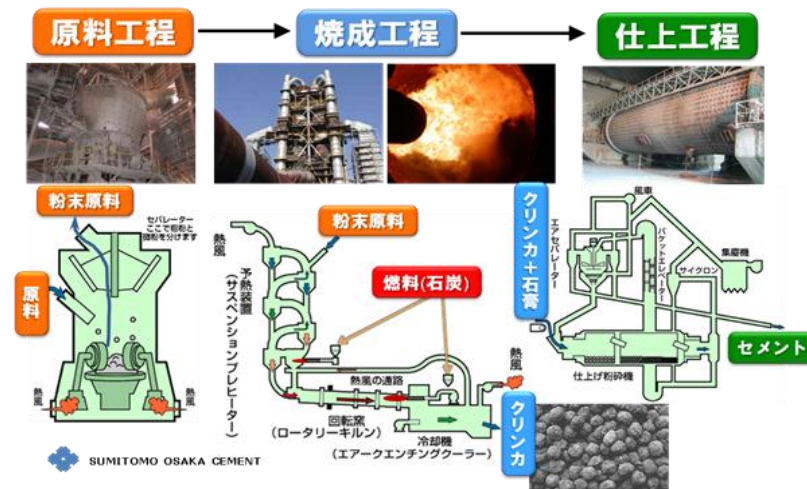


整理 No.	45	分類	津波堆積土砂、残渣(ふるい下)、その他	
会 社 名	住友大阪セメント株式会社			
担 当 者	環境事業部 副事業部長 鈴木 昌二			
連 絡 先	TEL	03-5211-4536	FAX	03-3221-5360
	E-mail	shsuzuki@soc.co.jp		
技術の名称	セメント資源化処理			
概 要	セメント工場は従来より他産業から発生する廃棄物や副産物を原料やエネルギーの代替として利用しており、災害廃棄物もこの技術を流用した処理が可能。セメント焼成炉では無機物と有機物が混在したものも使うことが出来、また、全てがセメントとして生まれ変わるため、二次的な廃棄物が出ないのも大きな特徴である。			
技術登録等				
技術の概要	■ 技術の概要 ① 基本的考え方 廃棄物のセメント資源化：他の処理方法にはない大きな特徴 1) 1,450℃の高温焼成プロセス → 安全処理。排ガスからのダイオキシン類は殆ど発生しない。 2) 焼成後の残渣(灰分)も、そのまま原料として利用され、二次的な廃棄物は発生しない。 3) 多くの種類の廃棄物を利用することが可能 ② 対象津波堆積土砂等 1) 土砂系災害廃棄物に可燃物が混入していても一定の条件が満たされていれば処理可能 2) 主な受入条件(例) サイズ：50mm 以下 塩素：1,000ppm 以下 放射能濃度：100Bq/kg 以下 等 3) 処理量については、成分や性状を確認の上、個別に検討 ③ 本技術を活用する為の設備や方法等 セメント焼成炉を活用（次頁フロー参照）			
次頁あり				

技術の概要
(つづき)

④ 本技術を活用し、得られた目的物の性状等

- 1) 市販されているセメントと同一品質
- 2) 災害廃棄物を使用したセメントの放射線濃度：国の基準 (100Bq/kg) 以下

⑤ 利用先・用途(実績等)

- 1) 災害廃棄物等の処理を実施した弊社グループのセメント工場
八戸セメント(青森県八戸市)
- 2) 実績例
 - ・青森県内・八戸市：可燃物、不燃物 等
 - ・岩手県久慈市、洋野町、野田村：木屑、可燃物、不燃物
 - ・宮城県石巻市：廃飼料、廃肥料、工業用原料
 - ・宮城県釜石市：不燃物